

責任(過失)の割合の具体例

交通事故といっても全て加害者側だけに責任があるとは限りません。被害者側にも責任がある場合が少なくないのです。こうした場合、当然被害者側も事故発生の責任の一端を負わなければなりません。

1. 車と車の事故

以下に掲げる例は加害者・被害者双方の責任(過失)割合を示したのですが、あくまで基本的な例にすぎず、具体的事情により修正されることがありますのでご注意ください。

交差点での出会頭

交差点における直進車同士の衝突事故

信号機により交通整理の行なわれている交差点
(状況) Aの信号が青、Bの信号が赤

A 0割
B 10割



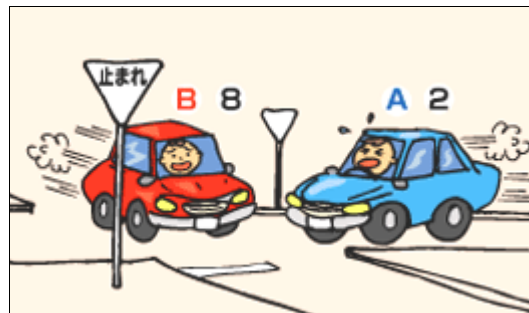
信号機により交通整理の行なわれていない交差点
(状況) 見通しのきかない同じ道幅の交差点でAが、
左方車で進入(A、B同じ速度の場合)

A 4割
B 6割



(状況) 一時停止の標識があってAは徐行義務違反、
Bは一時停止義務違反(A、B同じ速度の場合)

A 2割
B 8割



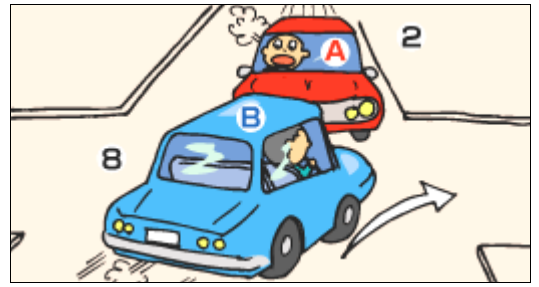
右折車と直進車

以下に掲げる例は加害者・被害者双方の責任（過失）割合を示したものです。あくまで基本的な例にすぎず、具体的事情により修正されることがありますのでご注意ください。

交差点における直進車と右折車の衝突事故

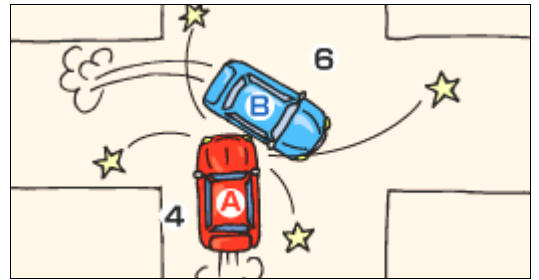
信号機により交通整理の行なわれている交差点
（状況）両車が同じ道路から青信号で交差点に入り、右折車Bが右折しようとした。

A 2割
B 8割



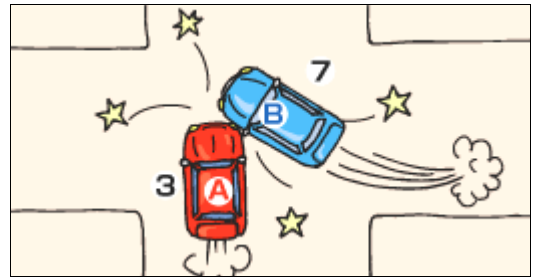
信号機により交通整理の行なわれていない交差点
（状況）両車が別々の同幅員の道路から交差点に入り、右折車Bが、左方から右折しようとした。

A 4割
B 6割



（状況）同じく右折車Bが、右方から右折しようとしていた。

A 3割
B 7割

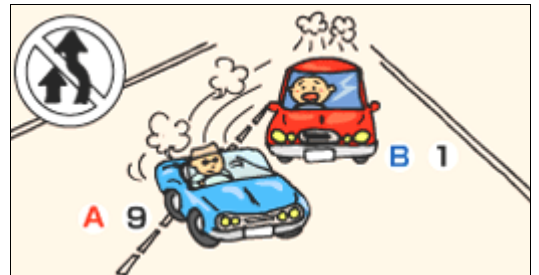


追越し事故

併進車の衝突事故

追越し
（状況）追越禁止場所での事故。

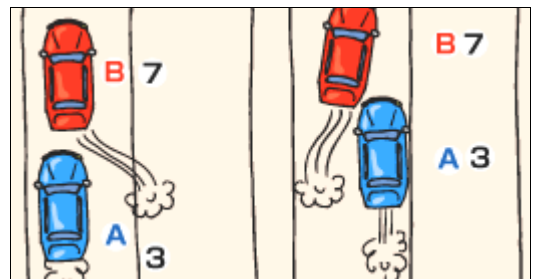
A 9割
B 1割



進路変更車と後続直進車との事故

（状況）予め前方にあるB車が進路変更し、A車と接触。

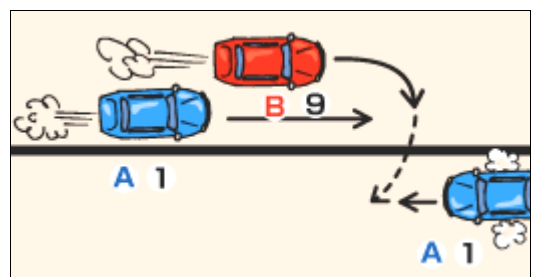
A 3割
B 7割



Uターン事故

（状況）ウィンカーで合図ださずにUターン中のB車とA車が衝突

A 1割
B 9割

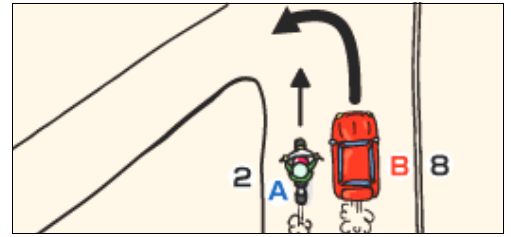


2. 4輪と自動2輪車の事故

交差点における直進二輪車と四輪車の事故

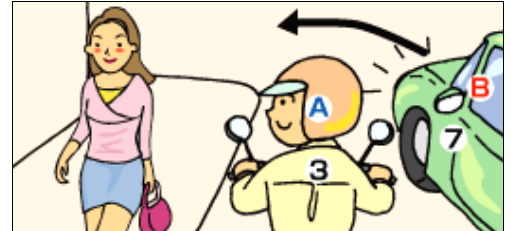
(状況) 左折車Bが先行している時の事故、左折車Bは後方確認、左寄り不十分

A 2割
B 8割



(状況) 同じく直進二輪車Aの著しい前方不注視

A 3割
B 7割



3. 車両対歩行者の事故

以下に掲げる例は加害者・被害者双方の責任（過失）割合を示したものです、あくまで基本的な例にすぎず、具体的事情により修正されることがありますのでご注意ください。

横断歩道上の事故

横断歩行者の事故

(状況) 歩行者の信号が赤、車の信号が青
歩行者の信号が黄、車の信号が赤

A 7割
B 3割

A 1割
B 9割



横断歩道外の事故

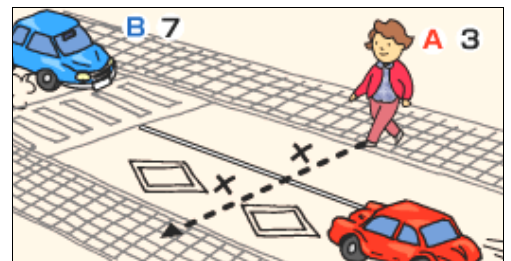
(状況) 2才の幼児が道路に飛び出した。

A 1割
B 9割



(状況) 横断歩道の付近で横断

A 3割
B 7割



対向ないしは同方向進行歩向者の事故

(状況) 歩車道の区別のない幅員8m以上の道路で歩行者Aが道路の中央部分を歩いていた

A 2割
B 8割

